

# Handbook of Engaged Sustainability

*Editors: Editor-in-chief: Dhiman, Satinder Marques, Joan (Ed.)*

## 本書の紹介

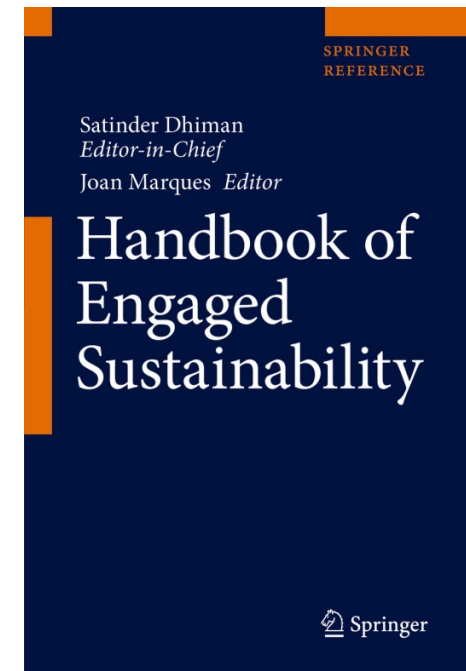
持続可能性の維持には、個人・集団レベルで深い心理的变化を起こす必要がある、という前提に基づいたハンドブック。

環境の持続可能性の実践に焦点を当てた本書では、消費経済学と政策の進化、持続可能な都市、持続可能な地球に至るまで、幅広い現状に持続可能性をいかに適用させるかを探る。全てにおいて持続可能で調和のとれた生活の実現には、個人、チーム、組織レベルで持続可能性に結びつけることが必要だと編者らは考えている。

経済発展問題と環境問題とを切り離すことはできない。最も実質的な面において、持続可能性とは、環境、社会、そして経済の相互関係を理解することである。本書は、学者、研究者、実務者が取り組む持続可能性の最新理論とアプローチの包括的な概要を提供することを目指しており、人類による環境への悪影響を軽減する、責任ある意思決定に着目している。持続可能性に対する様々な社会的、政治的イニシアチブが歓迎される一方、実際に法律に制定することはできておらず、草の根運動的に一般市民レベルで根本的に変えていく必要がある。

本書では、古典的文献、理論、原則のほか、世界的な学者や実務者による新たな理論や取り組みを紹介。実生活の事例とともに、十分に構築された教育的枠組みも提供する。

本書の目的は、持続可能性に対する読者の思考を「全体像の認識」や「宇宙のビジョン」にまで拡大することであり、そのビジョンは自分たちの近隣から、地域、州、国、地球、銀河へと広がり、宇宙全体をも包み込むだろう。持続可能性、倫理、企業の社会的責任、環境経済学に携わる研究者、学者、学生のほか、コンサルタント、ビジネスリーダー、チームリーダー等この分野に関心のある方には必携の一冊である。



2018 | XXX, 1276 | ISBN 978-3-319-71311-3 |  
In 2 volumes, not available separately

**販売代理店：極東書店**